

# 令和4年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立ひばりが丘中学校

## ●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	1スピーチのどの部分をどのように工夫して話すのかと、そのように話す意図を書く。	63.4	ほとんどの設問で都・全国の平均よりも高い正答率であった。1ーのスピーチの表現の工夫や2ー意見文の表現の修正、3二心情を表す語句の理解についての問題が大きく上回っており、授業での成果が現れている。	4の行書の問題についての無回答率が都・全国の数値より高かった。また、2三の資料から必要な情報を引用する問題の正答率が低いため、書写の授業を充実させるとともに、資料の読み取りの活動を積極的に取り入れていく。
	2三農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文緒下書きにスマート農業の効果を書き加える。	48.9		
	3ー「陽炎みたいに揺らめきながら」に使われている表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する。	58.8		
	4一行書の特徴を踏まえた書き方について説明したものとして適切なものを選択する。	42.7		
算数・数学	1 42を素因数分解する	85.5	すべての設問で都・全国の平均より高い正答率を収めた。また6(3)の記述式の設問は、全国平均より20%高い正答率を収めた上、無回答率が都24.2%・全国26.2%に対して本校は10.7%で、自分の考えを表現する力が育まれていることが図れた。	7(2)の箱ひげ図の問題の無回答率が都・全国の数値より上回った。与えられた情報から、分布の特徴を読み取る演習量が少ない。また、9(2)の証明問題の正答率は20%に満たない。筋道を立てて事柄が成り立つ理由を説明できるように対話的な活動を取り入れていく。
	6(3) ある偶数との和が4の倍数になる数について、予想した事柄を表現する	57.3		
	7(2) 箱ひげ図の箱が示す区間に含まれているデータの個数と散らばりの程度について、正しく述べたものを選ぶ	52.7		
	$\angle ABE$ と $\angle CBF$ の和が $30^\circ$ になる理由を示し、 $\angle EBF$ の大きさがいつでも $60^\circ$ になることの説明を完成する	19.8		
理科	1(1)日常の中で静電気の現象を見いだす。	45.0	1(1)や7(1)は、静電気や気化熱などの現象を日常生活や身近な現象と結びつける力が、あまり培われていないことが分かった。4(2)は、教科書にも載っている内容だが、それを応用できていない。7(2)は、結果から考察を導く力が弱いことがわかった。	①理科は身近にその例が多く見られるが、授業での説明や実験結果を身近な現象と常に関連づける方向性が必要である。 ②教科書の内容を、さらに発展させて、考えさせる習慣をつける。 ③結果から考察を自ら導く方法を習慣化させる。
	4(2)セキツイ動物の共通性を見抜く。	67.2		
	7(1)身近で気化熱を見いだす。	35.1		
	7(2)実験の結果から考察を導く。	53.4		